

フラッシュ開発ツールキットご使用上のお願い --データフラッシュ領域に書き込む際の注意--

フラッシュ開発ツールキットの使用上の制限事項を連絡します。

- データフラッシュ領域に書き込む際の注意

1. 該当製品

フラッシュ開発ツールキット (Flash Development Toolkit)
V.4.06 Release 00 ~ V.4.06 Release 01

2. 対象マイコン

SuperH RISC engine ファミリ、RXファミリ、H8SX ファミリ、H8S ファミリ、
およびH8 ファミリのデータフラッシュ領域を搭載しているマイコン

3. 内容

書き込みプログラムにデータフラッシュ領域のデータが存在しているにもかかわらず、フラッシュ開発ツールキットはそれを ALL H'FFデータとして扱い、ALL H'FFと表示する場合があります。

かつ、それをフラッシュメモリに書き込んだ場合は、データフラッシュ領域にALL H'FFを書き込みます。

4. 発生条件

データフラッシュ領域にデータがあるプログラムを、FDT V.4.05 以前のバージョンで作成したイメージファイル(*.ddi)を使用して、該当製品で書き込んだ場合に発生します。

5. 回避策

以下のいずれかの方法で回避してください。

- (1) 該当製品でイメージファイル(*.ddi)を再作成して、使用する。
- (2) 該当製品を使用せず、V.4.05 以前の製品で書き込む。

6. 恒久対策

V.4.07 Release 00 (2011年2月末リリース予定) で改修予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.